

## 教員推薦図書 2024年1月

推薦教員	子ども学科 助教 吉田 久実 先生	<b>【推薦コメント】</b> 著者である心理療法家による児童文学作品についての解説の魅力は、「子どもの本を読む」というこのタイトルに表れています。児童文学の専門家ではない著者は、書評や批評でなく自分が「子どもの本を読む」理由を述べ、子どもの本に対する大人の姿勢については鋭い問いを投げかけており、読み終わる頃には優れた児童文学作品に注目するきっかけや意義を与えてくれます。 本著は様々な出版社より出版されています。何れも序章では、子どものための本に対する大人の捉え方の疑問から、子どもについての大人の捉え方や考え方の問題へと話が及び、論じられており、そちらの内容の方に高く関心を持つ人がいるかも知れません。 もちろん著書の中で紹介された本についても興味が沸き、児童文学作品を改めて手に取りたくなると思います。子どもの時に読んだ作品、読んでいなかった作品を大人になった今読む事で、それぞれの人の現況により様々な解釈して楽しみながら、児童文学の素晴らしさや奥深さに改めて出会ってもらえたらと思います。  ※ 展示しているのは光村図書出版から出版された本です。
書名	子どもの本を読む	
著者名	河合 隼雄 著	
出版社	光村図書出版 講談社+α文庫 岩波書店	
請求記号	909 / Kaw	
資料ID	901029387	